

子どもの安心は社会全体で守るものだから

子どもたちは未来を担う大切な存在です。社会が健全であるためには、子どもたちの健やかな成長が欠かせません。私たちは、子どもたちが安全な環境でのびのびと成長できるよう、不慮の事故を未然に防ぐための活動や、困難な状況下にある子どもたちをケアする活動を支援することで、子どもたちを見守りたいと考えています。

子どもの事故予防啓発

1960年以降、子どもの死因トップは「不慮の事故」です。また、死亡には至らないまでも多くの子どもが事故を経験し、障がいを残すケースも少なくありません。不慮の事故の多くは自宅や遊び場、幼稚園や保育園など身近な場所で起こります。まわりの大人たちが事故についての知識を持ち実践することが、子どもたちを事故から守ることにつながります。不幸な事故を防ぐため、大人や社会が子どもの事故についての意識を高め、適切に対応できるよう、啓発を目的とした活動を支援しました。



支援団体：財団法人東京救急協会
<http://www.teate.jp/>



親子セミナー クイズや応急手当の実習を通じて、親子で身の回りの危険と事故の予防について学びます。

● セーフキッズセミナー

親子や、保育士や保健師など子どもに関わる職業とその職業をめざす学生などを対象に、子どもの事故防止と子どもに対する応急手当を学ぶセミナーを、全国で開催しました。

2007年開催地

沖縄県浦添市、福島県白河市、香川県観音寺市、東京都調布市、福岡県北九州市、東京都江東区、岐阜県高山市、東京都江戸川区



保育士・保健師セミナー 講演会と応急手当の実習を通じて、子どもの事故予防策と救命技能について学びます。

● 啓発ツールの制作・配布

啓発用のビデオや小冊子、カレンダーを制作し、全国の幼稚園、保育園などに配布しました。



思春期のライフスキル教育プログラム

友だちや家族との関係、タバコやドラッグへの誘惑など、青少年は日常生活でさまざまな困難に直面します。その困難をどのように対処するかということが、子どもたちの将来にまで影響を及ぼすこともあります。主に小中学校の教員や教育関係者を対象にワークショップを開催し、青少年が自分自身の力でこの困難を乗り越えるスキルと自尊心を身につけるためのプログラムの普及を図っています。



支援団体：特定非営利活動法人青少年育成支援フォーラム
<http://www.jiyd.org/>



主に中学校の教員を対象にしたライフスキル教育実施のためのワークショップ



ワークショップを受けた教員たちが各校に戻り生徒たちにライフスキル教育を行います。

暴力の影響を受けた子どもたちのこころのケアプログラム

ドメスティック・バイオレンス (DV) の起こる家庭で育つ子どもは、著しいストレスにさらされ、対人関係や自我形成に問題を抱えることが多くなります。こうした子どもたちは、人間らしい感情を失ったり、自尊心を持ってないまま大人になり、自分自身が暴力の加害者になってしまうことも少なくありません。こころの傷の回復をはかり、暴力の連鎖を食い止めることを目的に、ケアプログラムのためのインストラクターの養成やプログラムの実施、教材の制作に対して助成を行いました。



支援団体：女性ネット Saya-Saya
<http://www7.plala.or.jp/saya-saya/>



インストラクター養成講座 開催風景



「共生ポスター」と「感情ポスター」。子どもたちに、ひとりひとりの大切さやさまざまな感情があってよいことをわかりやすく伝えます。